

教えてください、あなたのことを。②⑥

東京都世田谷区 多田和夫 さん（環境カウンセラー、NPO法人えこひろば理事）

Q 差し支えなければ、年齢、出身地を教えてください。

A 出身地は東京都台東区（当時は下谷区）で、今年 82 歳になりました。

Q ごみ問題に関心を持つようになったのは…？

A 1998 年（平成 10 年）、65 歳で会社を定年、卒業し、世田谷区の市民大学で、経済、歴史などの授業を受講しました。しかし、この分野はまったくの素人で、勉強としては面白かったのですが、社会に貢献するという面では、役立たないことに気がつきました。

たまたま、NPO えこひろばの環境講座を受講した際、主催者の方から「NPO に入って一緒に環境啓発の仕事をしませんか」と声をかけられました。2000 年（平成 12 年）に、えこひろばが正式に NPO 申請をした際、役員として NPO えこひろばに入会することにしました。

その後、東京都環境学習リーダー養成講座を受講するなどして、環境問題の重要性を体得することになり、「ごみ問題」にも関心を持つようになりました。

Q 「ごみ・環境ビジョン 21」に入会して下さったきっかけを教えてください。

A 何回かごみ・環境ビジョン 21 のセミナーに参加し、市民、行政、大学等から呼ばれた講師の方々の先進的な、レベルの高いセミナー内容に関心を持つようになりました。

また、ごみかん理事の江川美穂子さんは東京都環境学習リーダーの同期なので、ごみかんの活動を応援したいと思いました。

Q ごみ問題に関わること意外に、趣味や生きがいは何ですか？

A 趣味は、山歩き、スキー、音楽などですが、現在は、なかなか時間をとることができません。生きがいとしては、「サステナブルな社会の構築、再生可能エネルギーの活用」などを進めることができれば良いと思っています。自宅の屋根にはソーラーパネルを設置し、太陽光発電を楽しんでいます。

Q 特筆すべき近況があれば、教えてください。

A 特にありませんが、昨年（2014 年）2 月、山口県の人づくり財団に声をかけられ、環境の部で「NPO 法人えこひろばの活動」について事例紹介をして来ました。受講者は、全体で 1000 人ほどが参加し、山口県の人づくりに対する熱意を感じました。

Q ごみかんに期待したいこと、あるいは提案したいことをお聞かせください。

A やはり、市民、行政、大学等の取り組みの紹介、連携の推進と、その成果、問題点、改善点などを紹介されることを期待しています。

